

# 市長就任の

## あいさつ

二期目の市長として再選された町田市長は、全市民の幸せのために、引き続き全力で市政の運営に取り組み姿勢を、議会において次のように述べております。



狭山市長 町田 潤 一

私は、先の市長選挙におきまして、皆様のご支援を賜り、市長として再選をさせていただき、5月18日より二期目の市長として、引き続き市政を担当させていただくこととなりました。私にとりまして誠に光栄に存じますと同時に、責任の重さを改めて痛感しております。

今後の市政運営に当たりましては、皆様から寄せられました信頼にお応えすべく、新たな決意と情熱をもって邁進してまいりますので、一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、市長に就任して以来今日まで、市政の主役は市民皆様であることとを市政運営の基本とし、「市民のための市政・市民と共に歩む市政」を理念に、市の理想とする「緑と健康で豊かな文化都市」の実現のために、微力ではありますが全力で取り組んでまいりました。今後も皆様のご協力をいただきながら、時代の変化に対応し、地域の特性を活かした、个性的で他市に誇れる、活力ある都市をめざして最大の努力をしてまいります。

さて、国並びに自治体を取り巻く社会・経済環境が一段と厳しさを増

してきている中で、地方自治体の財政状況も、より深刻さを増しております。このため、行財政改革などを通じた、財政の健全化が強く求められております。

私は、こうした状況に対処するために、確固たる決意をもって、事務事業の一層の見直しを図り、最小の経費で最大の効果を上げるよう努めてまいりますとともに、組織・運営の簡素合理化を図り、さらに、広域行政の推進にも積極的に取り組み、分権型社会に対応した力強いまちづくりを鋭意努力してまいります。

特に、21世紀に、市民皆様が豊かさを感じ、安心して暮らせる、環境の素晴らしいまちをつくるためには、都市基盤整備をはじめ、保健・福祉・医療のさらなる充実、また、自然環境の保全と公害問題の解消、さらに、市民生活の利便性と商工業の活性化対策など、今日まで進めてきた諸事業の早期実現と合わせ、夢と希望のある新たな施策にも、市民皆様の協力と参加をいただいで推進してまいります。

結びに、皆様のますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。二期目就任のあいさつといたします。

### 第2回狭山市議会臨時会

第2回狭山市議会臨時会が、去る5月19日(火)に開催され、議員提出の「狭山市議会委員会条例の一部を改正する条例」および市長提出の「専決処分承認を求める議案」4議案が原案どおり可決・承認されました。また、正副議長と常任委員会委員などが次のとおり選任されました。

- 議長 ▼ 橋本康雄
- 副議長 ▼ 大沢正一
- 総務経済委員会 ▼ 委員長・大島政教 ▼ 副委員長・田村秀二 ▼ 大沢正一 ▼ 吉池美耶子 ▼ 指田泰一 ▼ 飯島邦男 ▼ 小林則雄 ▼ 武藤喜八 ▼ 吉野操 ▼ 三ツ木文平
- 文教厚生委員会 ▼ 委員長・奥富喜康 ▼ 副委員長・森 轟 ▼ 中川 浩
- ▼ 広森すみ子 ▼ 大河原梅次 ▼ 仲川 幸成 ▼ 岩田三司 ▼ 斉藤壮伍 ▼ 宮岡 昭三 ▼ 橋本康雄
- 建設委員会 ▼ 委員長・斎藤哲男 ▼ 副委員長・栗原昭司 ▼ 内笹井務 ▼ 吉沢永次 ▼ 尾崎忠也 ▼ 早川文男 ▼ 渡辺智昭 ▼ 町田武一郎 ▼ 久保田金治 ▼ 山崎滋夫 (以上・敬称略)

### お茶を通じた経済交流を期待



5月21・22日の両日、友好交流都市の中華人民共和国浙江省杭州市から、茶製官開発視察団(団長・杭州市経済委員会副主任 鈕容量氏以下9名)が狭山市を訪れました。一行は町田市長を表敬訪問した後、市内

の茶園や工場などで、狭山茶とお茶を使った製品を視察したほか、狭山商工会議所、狭山市茶業協会、埼玉県茶業試験場などのお茶の活用方法や茶製品に関する懇談会も行なわれました。

### 不老川に清流を取り戻そう 水質環境保全対策事業として処理水を放流

不老川に清流をよみがえらせようと、かねてより市民団体や市県によりさまざまな浄化対策が進められていたが、このたび清流ルネッサンス21計画の一環として埼玉県が平成5年度から整備を進めていた「不老川水質環境保全対策事業」の第一期工事が完了し、5月23日(土)、土屋県知事をはじめ多くの関係者が参加し通水式が行なわれました。式典では土屋知事や町田市長によりポンプのスイッチが入られたのをはじめ、日ごろから不老川の環境保全活動を行なっている7つの市民団体を代表して、不老川をきれいにする会の新井悟樹会長が土屋知事より感謝状を授与されました。

この事業は、浄化した下水処理水を川越市滝ノ下終末処理場から12.5km上流の南入曾の中原橋まで送水し不老川に放流するもので、一日あたり3万9千m<sup>3</sup>の送水量を持つことから、希釈効果による不老川の水質改善が期待されます。今後は、平成12年



町田市長は「全国ワースト1といわれた不老川ですが、新井会長をはじめ、多くのかたに浄化活動を進めていただき、また、県も国とタイアップして浄化活動に力を入れていただいたことに感謝申し上げます。これからは不老川が、人びとが憩える水辺の空間となるよう、そしてワースト1ではなくベスト1の河川になるよう、より一層の取り組みに期待しています。」とあいさつしました。